

# 鹿嶋市青少年相談員だより

問 社会教育課



「地域の子どものための母のつもりで」

豊郷地区担当 犬塚 英子さん

青少年相談員としての活動も9年目を迎えます。先日は、波野小学校と豊郷小学校で朝の「あいさつ声かけ運動」に参加しました。

上級生の後から体より大きなランドセルを背負って登校してくる一年生。恥ずかしそうに「おはようございます」とあいさつを返してくれました。子どもたちが今日も一日、大きな事故やけがなく元気に過ごせますようにと祈る思いでした。

また、鹿島神宮駅では、電車で帰路に着く高校生などに啓発用ティッシュを配りながら、あいさつする活

動も行っています。将来を担う若者にエールを送る気持ちで活動しています。

近年、青少年を巻き込む事件が増えて

います。市内や近隣市でも、不審者情報が多数寄せられています。日頃から学校や家庭での指導が十分なされているようで、大事には至っていませんが、保護者の不安は大きいものがあります。

これからの子育ては、家庭・学校・地域のつながりが大きな役割を持つと思います。大人と子ども、大人同士・子ども同士のコミュニケーションの輪が広がり、子どもの安全が守られるよう、青少年相談員として「地域の子どものための母」のつもりで、これからも活動していきたいと思っています。



▲市内小学校でのあいさつ声かけ運動

## 新連載

### 古川博士の気象コラム



#### ■古川 武彦 (ふるかわ たけひこ)

滋賀県出身。理学博士。昭和36年、気象庁研修所高等部(現・気象大学校)卒業。気象庁予報課長、札幌管区気象台長などを歴任。退官後、気象研究や啓発を行う「気象コンパス」を立ち上げる。現在、「かしま灘楽習塾」で気象講座を開くかたわら、新聞や月刊誌などに執筆中。『気象庁物語』ほか、著書多数。



わが家の気象予報士になってみませんか？家の近くで風や気温、雲などをチェックし、テレビなどの天気図と合わせて、独自の天気予報ができれば楽しいですね。

さて、皆さんは市内で写真のような風景を見たことがありますか。これは煙突から出る煙に含まれている微細な塵を核に、空気中の水蒸気が冷やされ凝



▲市内でよく見られる煙突から生まれる雲

結して生まれた立派な「雲」です。

雲は空気中の塵などに水滴が集まり、互いが衝突し

合って重くなることで雨を降らせませす。冷えた朝に、屋外の草花などにできる朝露も同じ仕組みで、この場合は葉面が核の役割をします。

塵は「凝結核」と呼ばれ、通常、空気中の指先ほどの体積に数百個も含まれています。しかし、核が十分にあっても、空気が乾燥していると雲はなかなか生まれませす。煙突から煙が上昇して冷えると、核が働いて写真のような雲が生まれるというわけです。

雲が北に棚引いているときは、南から湿った空気が流れ込んでいる証拠。天気が崩れる前兆かも知れませす。また、空気が乾燥した西風などのときは、煙は雲にならず上空に広がるだけになります。

雲にはこんな秘密があります。ぜひ、雲の形にも注目してみてください。

[市の花] はまなす



[市の木] 松



[市の鳥] きじ



マチイロ

～もっと鹿嶋が好きになる～

アプリで広報かしまや市ホームページの最新情報を確認できます。



▲ダウンロード用QRコード

広報 かしま

【発行】鹿嶋市 〒314-8655 茨城県鹿嶋市大字平井1187-1

【編集】政策企画部 広報推進課

☎ 0299-82-2911(代表) ☎ 0299-82-0789

🌐 <http://city.kashima.ibaraki.jp/>

✉ [kouhou1@city.ibaraki-kashima.lg.jp](mailto:kouhou1@city.ibaraki-kashima.lg.jp)



市公式ホームページ(スマートフォン用)

平成30年7月15日 No.576